

-Index-

高等部「学校紹介・体験入学」のご案内
大阪府コロナ関連手話ハンドブック
第10回聴覚障がいのある幼児・児童・生徒の担当教員研修会
第20回養護教諭セミナー
チャレンジ！発音指導⑦
みみよりコラム



8/19・20 高等部『学校紹介・体験入学』のご案内

聴覚障がいのある中学3年生を対象に、本校高等部（普通科・アパレル情報科・インテリア科）の紹介・各学科の体験入学を実施します。進路選択の参考として、ぜひご参加ください。

中学3年生対象

〈日時〉令和3年8月19日（木）9:50 受付 普通科生活応用コース
20日（金）9:30 受付 普通科・アパレル情報科・インテリア科
〈場所〉本校高等部
〈対象〉中学3年生とその保護者、担任および進路指導関係担当教員
〈時程〉

8月19日（木）普通科 生活応用コース	
9:50 ~	受付
10:00 ~	学校長挨拶、一日の流れについての説明
10:30 ~ 11:30	生活応用コース 体験授業（60分）

8月20日（金）普通科・アパレル情報科・インテリア科		
9:30~	受付	
10:00 ~	学校長挨拶、学校説明（生徒会活動・進路状況・教育課程）	
10:30 ~ 11:10	普通科 体験授業①	アパレル情報科・インテリア科 体験実習①
11:20 ~ 12:00	普通科 体験授業②	
13:30 ~ 14:10	普通科 体験授業③	アパレル情報科・インテリア科 体験実習②
14:20 ~ 15:00	普通科 体験授業④	

次の体験から3つまで申し込みます
（ただし、普通科・アパレル情報科・インテリア科3つの同時選択は不可）

- 生活応用コース 体験授業（60分） 「プラ板 キーホルダー制作」
- 普通科 体験授業①~④（40分×2） 「火山の噴火の仕組み」（理科）
「アフリカの国々を知ろう」（社会）
- アパレル情報科 体験実習（90分） 「illustrator でつくる名刺・名刺入れ」
- インテリア科 体験実習（90分） 「小物作り・CAD（キヤド）」

〈持ち物〉筆記用具、上履き、体操服（インテリア科の体験実習を希望する場合）
弁当（20日に複数の科の体験を希望される場合）

中学1、2年生対象

〈日時〉令和3年8月19日（木）9:50 受付 普通科生活応用コース
〈場所〉本校高等部
〈対象〉中学1、2年生とその保護者、担任および進路指導関係担当教員
〈時程〉

8月19日（木）普通科・アパレル情報科・インテリア科	
9:50 ~	受付
10:00 ~	学校長挨拶、注意事項・連絡事項
10:30 ~ 11:10	普通科 体験授業①
11:20 ~ 12:00	普通科 体験授業②
13:30 ~ 14:10	普通科 体験授業③
14:20 ~ 15:00	普通科 体験授業④

次の体験から3つまで申し込みます

- 普通科 数学 「どっちが得？数学で考えよう」
- 普通科 英語 「Let's have fun studying English！」
- 普通科 情報 「データの分析とグラフ作成」
- アパレル情報科 「Word でつくるバースデーカード」
- インテリア科 「小物作り」

〈申し込み〉

- ・参加希望の学校は、所定の申込用紙により 7月9日（金） までに FAX にて本校にお申し込みください。
- ・準備の都合上、締切日後の申し込み不可とさせていただきます。
- ・参加時間帯を決定した「時間帯のお知らせ」を、7月20日（火）までに各校へお送りします。

- 詳細については、別途配付のご案内をご確認ください
- 生徒の参加に際しましては、必ず教員または保護者の付き添いをお願いいたします。
- 駐車場がありませんので、車での来校はご遠慮ください。
- 本校では新型コロナウイルス感染症対策として、事前の検温、体調確認、マスクやフェイスシールド等の着用、手指消毒の徹底、咳エチケットの遵守をお願いしています。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、計画の変更、中止の可能性がありますことをご了承ください。

〈問い合わせ〉大阪府立中央聴覚支援学校 高等部（担当：山本）
 TEL 06-6761-1424（高等部直通） 06-6761-1419（代表）
 FAX 06-6762-1800

大阪府コロナ関連手話ハンドブック

公益社団法人大阪聴力障害者協会が「大阪府コロナ関連手話ハンドブック」を作成しました。聴覚に障がいのある子どもたちの健康観察のとき、体調が気になるときなど、参考になる手話表現が掲載されています。無料で配布されていますので、大阪ろうあ会館または大阪府内の各市役所障害福祉課等にお問い合わせください。

〈掲載されている文章例〉

- ・熱はありますか？
- ・体温は何度ですか？
- ・体はだるいですか？
- ・咳はありますか？
- ・吐き気はありますか？
- ・息苦しさはありますか？
- ・頭痛はありますか？
- ・のどの痛みはありますか？
- ・味やおいは分かりますか？



（参考）公益社団法人大阪聴力障害者協会（大阪ろうあ会館）ホームページ
<http://daicyokyo.jp/roua/>

＼夏の公開講座①／

第10回聴覚障がいのある幼児・児童・生徒の担当教員研修会

（定員 25名）

聴覚障がいのある幼児・児童・生徒を担当されている教職員の方々を対象にした研修会を開催します。全体講座では、デフリンピックの金メダリスト（本校教員）から、聴覚障がいのある子どもたちに伝えたいことや、先生方にぜひ知っていただきたいことについて、お話しします。また、選択講座では4つの分科会に分かれて、各テーマに基づいた研修を行います。

<1> 期 日 令和3年 **8月2日（月）**

<2> 対 象 大阪市および守口市内の学校園、大阪府下の高等学校・支援学校に在籍する聴覚障がいのある幼児・児童・生徒を担当する教職員

<3> プログラム

- 13:30 ～ 受付
- 13:40 ～ 13:50 開会式
- 13:50 ～ 14:50 全体講座

「金メダリストが語るデフリンピックときこえにくい子へのメッセージ」

本講座では、本校の高等部教員が、選手・指導者の双方の立場から、バレーボールを通して学んだこととお話します。「長年、全国大会で中心選手として活躍できたのはなぜか？」「今、どんな思いで後進の指導にあたっているか」など、生の声を聞く絶好の機会です。

15:00 ～ 16:15 選択講座

発音指導	「言語を伝える」～あれこれ～	きこえと補聴機器	重複障がいのある子どもへの指導
発音のしくみや発音要領（母音・子音）について紹介しながら、実践研修をします。	「言語を伝える」をテーマに、本校中学部国語科・英語科教員より、教科指導の中で意識すること、大切にしていることなど地域で活かせるあれこれをお伝えします。	「きこえのしくみ」と、補聴器や人工内耳などの補聴機器についての基礎的な内容を紹介します。	聴覚と他の障がいを併せ有する子どもの発声・発語・ことばの学習について、教材や事例を紹介します。

16:15 ～ 16:30 閉会式

----- Deaflympics -----

デフリンピックは、障がい当事者であるろう者が選手の活躍を期待し、大きな感動を受ける国際競技会です。ろう者自身が運営するろう者のための国際的な協議会であり、参加者が国際手話によるコミュニケーションで親睦を深められるところに大きな特徴があります！



夏の公開講座②

第20回養護教諭セミナー（聴覚に関する知識と実践）

（定員 25名）

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策をテーマに、聴覚がいのある幼児児童生徒への本校の取り組みや、マスク着用時に有効な補助手段となる手話の体験を予定しています。

<1> 期 日 令和3年 **8月3日（火）**

<2> 対 象 大阪市・守口市内の学校園の養護教諭
大阪府下の支援学校の養護教諭

<3> プログラム

13:30 ~ 受付

13:40 ~ 13:50 開会式

13:50 ~ 14:20 講座1「聴覚支援学校における感染症対策の工夫」

現在の感染症対策で求められているマスクの着用は、子どもたちにとって授業理解や友だちとの会話に非常に困難をきたしています。感染予防とコミュニケーションをどのように両立させればよいか、本校の実践を踏まえて参加者の先生方と考えていきたいと思ひます。

14:20 ~ 14:50 講座2「保健室で役立つ手話体験」

日々、コミュニケーションの壁にぶつかりながら頑張っている子どもたち。養護教諭の先生方には、そんな子どもたちにとって心が通じる人、ホッと安心できる存在であってほしい。そんな願いを込めて、養護教諭の視点からお話しします。また、学校現場で役立つ手話をピックアップしてお伝えします。体験を交えながら楽しく手話を身につけていただくチャンスです！

15:00 ~ 16:00 講座3「情報交換会」

16:00 ~ 閉会式

終了後、聴能室見学・個別相談（希望者のみ）

共通事項（夏の公開講座①②）

- ・詳細については、各校園に案内を送付もしくはメール配信しております。
- ・添付の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、郵送か通送、またはFAXにてお申し込みください。
- ・締め切り **7月16日（金）必着**（定員になり次第、締め切ります）
- ・参加を受け付けた方には、FAXもしくはメールで連絡します。定員を超えて受け付けられない場合には、個別に連絡します。
- ・スリッパをご持参ください。

チャレンジ！発音指導 ⑦

今回は、発音の4つのプロセス（①呼吸、②発声、③共鳴、④構音）のうち、③発音について取りあげます。

声道（のどの奥から口、鼻まで）の形により声の響きが変化します。ヒトはこの声道の形を変え、音を共鳴させることも利用して、様々な声を出すことができます。また、人それぞれで声が違うのは、この声道（共鳴腔）がそれぞれ異なることによります。



参考文献「聴覚障害児の発音・発語指導」では、母音を指導する際に示す指標が、図でわかりやすく示されています。

この共鳴は、母音と鼻音を作り出すときに重要な役割を果たしています。母音は、声道、特に口の中で舌の位置と口唇の形を変えて響かせることで、出し分けています。また、鼻音は、日本語では、な行、ま行、が行の発声時に軟口蓋がさがり、鼻腔にも呼気を流し響かせることで作り出しています。このように、個々の音に対応した声道の形に変える必要があります。

（参考文献）「聴覚障害児の発音・発語指導」永野哲郎著・ジアース教育新社

みみより★コラム

みみネット No.302（令和2年10月23日発行）に掲載した「電話リレーサービス」が、7月から公共のサービスとして始まります。事前に登録し、料金は「ひと月170円余りの定額料金を支払う代わりに、通話料が割安になるプラン」もしくは「利用時間に応じて通話料を支払うプラン」を選ぶことができます。きこえない人ときこえる人の会話を、通訳オペレータが「手話」または「文字」と「音声」を通訳することにより、電話で即時双方向につながる事ができる本サービスには、大きな期待が寄せられています。

（参考）日本財団ホームページ <https://trs-nippon.jp/>

「みみネット」編集部：

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：中咲、金森

〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31

TEL. 06-6761-1419 FAX. 06-6762-1800